



## 2020年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年5月11日

上場会社名 株式会社構造計画研究所 上場取引所 東  
 コード番号 4748 URL <https://www.kke.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 服部 正太  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役 (氏名) 荒木 秀朗 TEL 03-5342-1142  
 四半期報告書提出予定日 2020年5月11日 配当支払開始予定日 2020年6月8日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2020年6月期第3四半期の業績（2019年7月1日～2020年3月31日）

#### （1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第3四半期	8,410	4.5	527	76.9	473	54.5	301	845.4
2019年6月期第3四半期	8,049	7.9	298	217.0	306	294.3	31	87.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第3四半期	58.55	—
2019年6月期第3四半期	6.50	—

#### （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第3四半期	14,383	5,575	38.8
2019年6月期	12,998	5,426	41.7

（参考）自己資本 2020年6月期第3四半期 5,575百万円 2019年6月期 5,426百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	15.00	15.00	15.00	45.00	90.00
2020年6月期	20.00	20.00	20.00		
2020年6月期（予想）				—	100.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2019年6月期期末配当金の内訳 普通配当 35円00銭 記念配当 10円00銭（創立60周年記念配当）

※2020年6月期（予想）につきましては、合計で100円00銭としており、各四半期毎に配当を行うこととしておりますが、第4四半期の支払額については未定であり、決定次第ご報告いたします。

### 3. 2020年6月期の業績予想（2019年7月1日～2020年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,700	6.1	1,500	20.8	1,470	17.9	1,000	46.5	188.68

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年6月期3 Q	5,500,000株	2019年6月期	5,500,000株
2020年6月期3 Q	306,611株	2019年6月期	437,608株
2020年6月期3 Q	5,156,759株	2019年6月期3 Q	4,912,763株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

（注）2018年ESOP信託及び2017年役員向け株式給付信託が保有する当社株式を自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(持分法損益等) .....	8
3. 補足情報 .....	9
生産、受注及び販売の状況 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社は「Professional Design & Engineering Firm」として、工学知に裏付けられた高付加価値なサービスを提供しております。

事業活動においては、収益の拡大と利益の確保、及び得られた利益を投資に回すサイクルにより、企業として持続的に成長し続けることを重視しております。収益の拡大に関しては、既存事業においては経験曲線効果を重視し、工学知の積み重ねと着実な付加価値向上を目指すとともに、新規顧客・テーマの開拓にも注力しております。利益の確保に関しては、高付加価値サービスに見合う見積価格の提示、不採算プロジェクトを抑制するための組織的な品質確保等に取り組んでおります。また、得られた利益を、社内事業開発テーマや国内外を問わず最先端の技術を持つパートナーとの協業等の投資に回し、新しい事業の開発に努めております。さらに、人材の育成や働く環境の向上にも積極的に投資をしております。

当第3四半期累計期間におきましては、前期から繰り越された豊富な受注残に加え100億54百万円（前年同期は91億23百万円）の受注獲得により、売上高は84億10百万円（前年同四半期は80億49百万円）、営業利益は5億27百万円（前年同四半期は2億98百万円）、経常利益は4億73百万円（前年同四半期は3億6百万円）となりました。また、当第3四半期累計期間において、四半期純利益は3億1百万円（前年同四半期は31百万円）となり、前年同四半期と比較して増収増益となりました。受注残高につきましても、前年同四半期末を上回る79億21百万円（前年同四半期末は64億94百万円）を確保しており、当事業年度末に向けた事業活動は順調に推移しております。

以上を踏まえ、2020年3月31日を基準日とした当第3四半期末配当金を、1株当たり20円とすることを決定いたしました。なお、年間配当金の予想につきましては、1株当たり100円に変更はありません。また、当社は2020年3月12日の取締役決議において200,000株（5億円）を上限とする自己株式取得に係る決議を行いました。当第3四半期会計期間におきましては、40,100株（92百万円）の取得を行っており、引き続き株主還元へ努めて参ります。

各報告セグメントに関しては、2.（3）四半期財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）のⅡ当第3四半期会計期間（自 2019年7月1日 至 2020年3月31日）もご参照ください。

当第3四半期累計期間の報告セグメント別の状況は、次のとおりであります。

## (エンジニアリングコンサルティング)

当第3四半期累計期間においては、構造設計コンサルティング業務、住宅メーカー向けシステム開発業務、及び建設・製造業向けシステム開発業務が堅調に推移しました。この結果、売上高は60億65百万円（前年同四半期は58億89百万円）、売上総利益は36億92百万円（前年同四半期は34億22百万円）となりました。また、受注残高につきましては、68億18百万円（前年同四半期末は55億63百万円）となっております。

## (プロダクツサービス)

当第3四半期累計期間においては、米国SendGrid, Inc.のクラウドベースメールの配信サービスや米国LockState, Inc.の入退室管理クラウドサービスが順調に販売を拡大しました。また、設計者向けCAEソフト、粒子法流体解析ソフトの販売が堅調に推移し、当セグメントは着実に進展しております。この結果、売上高は23億45百万円（前年同四半期は21億59百万円）、売上総利益は9億30百万円（前年同四半期は8億8百万円）となりました。また、受注残高につきましては、11億3百万円（前年同四半期末は9億30百万円）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて24.1%増加し、52億6百万円となりました。これは、主に仕掛品が8億14百万円、受取手形及び売掛金が3億1百万円増加する一方、現金及び預金が4億90百万円減少したことによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて4.2%増加し、91億76百万円となりました。これは、主に投資有価証券が1億53百万円、投資その他の資産のその他に含まれる敷金が1億99百万円増加したことによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて10.7%増加し、143億83百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて57.4%増加し、57億25百万円となりました。これは、主に短期借入金が12億円、賞与引当金が7億57百万円、前受金が6億53百万円増加する一方、未払費用が6億22百万円減少したことによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて21.7%減少し、30億82百万円となりました。これは、主に長期借入金が8億91百万円、社債が50百万円減少する一方、退職給付引当金が81百万円増加したことによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて16.3%増加し、88億8百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて2.7%増加し、55億75百万円となりました。これは、主に自己株式が3億0百万円減少したことによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

昨今新型コロナウイルス感染症の影響により不透明な状況が続いておりますが、当社におきましては、テレワーク、時差出勤、webミーティング等の活用により、従業員の健康へのサポートと事業活動を両立しております。

2020年6月期の業績予想につきましては、2019年8月8日に公表いたしました通期業績予想の数値から変更はございません。なお、当社が開示する業績予想、将来見通し、目標等は当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断される一定の前提に基づいております。今後、通期業績予想等に修正の必要が生じた場合には、東京証券取引所の適時開示規則に基づき、速やかにご報告させていただきます。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,351,550	861,019
受取手形及び売掛金	1,415,523	1,717,036
半製品	85,498	131,607
仕掛品	702,261	1,517,099
前渡金	57,359	210,718
前払費用	508,257	519,114
その他	121,022	294,738
貸倒引当金	△45,956	△44,913
流動資産合計	4,195,516	5,206,421
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,675,149	1,620,859
土地	3,267,401	3,267,401
その他(純額)	111,053	130,144
有形固定資産合計	5,053,604	5,018,405
無形固定資産		
ソフトウェア	351,300	360,698
その他	88,618	65,641
無形固定資産合計	439,918	426,340
投資その他の資産		
投資有価証券	1,654,159	1,807,266
その他	1,659,333	1,928,626
貸倒引当金	△3,757	△3,757
投資その他の資産合計	3,309,735	3,732,135
固定資産合計	8,803,258	9,176,880
資産合計	12,998,775	14,383,302
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	238,198	307,517
短期借入金	10,000	1,210,000
1年内返済予定の長期借入金	541,832	704,342
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
未払金	406,033	456,308
未払費用	861,835	239,805
前受金	884,064	1,537,770
賞与引当金	-	757,821
役員賞与引当金	-	124,349
その他	594,648	287,823
流動負債合計	3,636,613	5,725,739

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2020年3月31日)
<b>固定負債</b>		
長期借入金	1,386,471	495,172
社債	350,000	300,000
株式報酬引当金	63,477	86,478
退職給付引当金	2,004,634	2,086,296
役員退職慰労引当金	40,000	40,000
資産除去債務	56,028	56,401
その他	35,175	17,958
<b>固定負債合計</b>	<b>3,935,787</b>	<b>3,082,307</b>
負債合計	7,572,400	8,808,046
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	1,010,200	1,010,200
資本剰余金	1,159,926	1,159,926
利益剰余金	4,117,147	3,964,008
自己株式	△851,517	△550,759
<b>株主資本合計</b>	<b>5,435,757</b>	<b>5,583,375</b>
<b>評価・換算差額等</b>		
<b>その他有価証券評価差額金</b>	<b>△9,382</b>	<b>△8,120</b>
<b>評価・換算差額等合計</b>	<b>△9,382</b>	<b>△8,120</b>
<b>純資産合計</b>	<b>5,426,374</b>	<b>5,575,255</b>
負債純資産合計	12,998,775	14,383,302

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
売上高	8,049,848	8,410,863
売上原価	3,818,626	3,787,176
売上総利益	4,231,221	4,623,686
販売費及び一般管理費	3,933,082	4,096,310
営業利益	298,138	527,376
営業外収益		
受取利息	27	16
有価証券利息	2,092	2,961
受取配当金	1,523	1,528
未払配当金除斥益	1,163	3,369
仕入割引	—	2,168
投資有価証券運用益	23,246	—
販売報奨金	11,397	—
その他	2,319	2,648
営業外収益合計	41,770	12,692
営業外費用		
支払利息	12,344	13,464
社債利息	816	1,572
投資有価証券運用損	—	39,179
社債発行費	9,539	—
その他	10,935	12,669
営業外費用合計	33,636	66,884
経常利益	306,272	473,184
特別損失		
関係会社株式評価損	241,760	—
固定資産除却損	153	325
会員権評価損	—	12,798
特別損失合計	241,913	13,124
税引前四半期純利益	64,359	460,060
法人税、住民税及び事業税	117,749	229,532
法人税等調整額	△85,323	△71,377
法人税等合計	32,426	158,155
四半期純利益	31,933	301,904

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年3月12日開催の取締役会決議に基づき、取得株式数200,000株、総額5億円を上限として自己株式の取得を進めております。

当第3四半期会計期間末時点で、40,100株、92百万円の自己株式の取得を行っております。この取得等により、当第3四半期会計期間末において自己株式が5億50百万円となりました。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	エンジニアリング コンサルティング	プロダクツ サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,889,956	2,159,891	8,049,848	—	8,049,848
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,889,956	2,159,891	8,049,848	—	8,049,848
セグメント利益	1,994,215	207,231	2,201,447	△1,903,308	298,138

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,903,308千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第3四半期累計期間(自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期 損益計算書 計上額 (注2)
	エンジニアリング コンサルティング	プロダクツ サービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,065,725	2,345,138	8,410,863	—	8,410,863
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,065,725	2,345,138	8,410,863	—	8,410,863
セグメント利益	2,244,223	299,338	2,543,561	△2,016,184	527,376

(注) 1. セグメント利益の調整額△2,016,184千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(持分法損益等)

	前事業年度 (2019年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2020年3月31日)
関連会社に対する投資の金額	286,545千円	286,545千円
持分法を適用した場合の投資の金額	267,773千円	220,054千円

  

	前第3四半期累計期間 (自 2018年7月1日 至 2019年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2019年7月1日 至 2020年3月31日)
持分法を適用した場合の投資損失(△)の 金額	△180,824千円	△47,718千円

## 3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

## (1) 生産実績

当第3四半期累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高 (千円)	前年同四半期比 (%)
エンジニアリングコンサルティング	3,180,914	103.6
プロダクツサービス	1,421,100	104.7
合計	4,602,015	103.9

(注) 1. 金額は総製造費用より他勘定振替高を控除した金額によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) 受注実績

当第3四半期累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
エンジニアリングコンサルティング	7,688,855	108.3	6,818,221	122.5
プロダクツサービス	2,365,933	116.8	1,103,485	118.6
合計	10,054,788	110.2	7,921,707	122.0

(注) 1. 金額は販売価額によっております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (3) 販売実績

当第3四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高 (千円)	前年同四半期比 (%)
エンジニアリングコンサルティング	6,065,725	103.0
プロダクツサービス	2,345,138	108.6
合計	8,410,863	104.5

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。